

News Release

[本ニュースリリースは、JR 東日本メカトロニクス株式会社、三菱 UFJ ニコス株式会社、日本 NCR 株式会社の共同リリースです。]

2013 年 3 月 4 日

小売店向けに交通系電子マネーの導入を容易にする クラウド型マルチ決済システム「J-Mups」の POS 接続ソフトウェアを開発！ 導入第一弾は小田急商事の食品スーパー「Odakyu OX」3 月上旬から順次稼働予定

日本 NCR 株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:諸星俊男)、JR 東日本メカトロニクス(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:鈴木俊一)、三菱 UFJ ニコス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:和田哲哉)の 3 社は、小売店向けに交通系電子マネーの導入を容易にする、クラウド型マルチ決済システム「J-Mups(ジェイマップス)」の POS 接続ソフトウェアを共同で開発しました。

導入第一弾は小田急商事株式会社が展開するスーパーマーケット「Odakyu OX」で、19 店(注 1)の POS 約 150 台に同ソフトウェアを搭載します。これにより「Odakyu OX」では交通系電子マネー「PASMO(パスモ)」が利用可能となります。

今回開発したソフトウェアは、「NCR RES -ePayment for J-Mups(エヌシーアール・アールイーエス・イーペイメント・フォー・ジェイマップス)」。

店舗に設置された NCR の POS ターミナルに、「J-Mups」対応ソフトウェア「NCR RES -ePayment for J-Mups」を搭載し、電子マネーのリーダーライターを接続することによって交通系電子マネーの取扱いが可能となります。同ソフトウェアにより、店舗では POS 接続の設計・構築の手間が省け、開発コストを抑えられます。

「J-Mups」は 2012 年 7 月に三菱 UFJ ニコスと JR 東日本メカトロニクスが共同で開発、専用のコンピューターサーバーに決済アプリケーションを集約し、加盟店に設置の決済端末からインターネット経由で利用(決済)できる仕組み。複数の決済サービスを同一端末で処理でき、拡張性・高セキュリティなどが特徴です。

同ソフトウェアは、クレジットカードや電子マネーといった決済手段に特化したパッケージとなっているため、日本 NCR 製はもとより他社製の POS にも導入が可能です。また、今後、他の電子マネーをはじめ、銀聯カード、ジェイデビット(J-debit)なども、対応させていく予定です。

3 社では、レジ周りの業務効率化や顧客満足度の一層の向上を目指す POS 導入企業を対象に、同ソフトウェアの販売を推し進めていきます。

(注 1)今回対象となる 19 店舗は以下のとおりです。

Odakyu OX 生田店、Odakyu OX 梅ヶ丘店、Odakyu OX 栗平店、Odakyu OX 狛江店、Odakyu OX 相模大野店、Odakyu OX 相模原店、Odakyu OX 座間店、Odakyu OX 渋沢店、Odakyu OX 新百合ヶ丘店、Odakyu OX 成城店、Odakyu OX 相武台北口店、Odakyu OX 祖師谷店、Odakyu OX 玉川学園店、Odakyu OX 千歳船橋店、Odakyu OX 長後店、Odakyu OX 三鷹台店、Odakyu OX 南林間店、Odakyu OX 大和店、Odakyu OX 読売ランド店

*J-Mups は JR 東日本メカトロニクス株式会社と三菱 UFJ ニコス株式会社の登録商標です。

*NCR は NCR Corporation の米国および他の各国における商標または登録商標です。